



琵琶湖対岸から比叡山を望む
(2008年1月 卯田卓矢 撮影)

地理空間学会ニュースレター

TOPICS

- ・第8回大会のお知らせ(第1報)
- ・第7回大会の報告, 巡検報告
- ・第7回総会報告
- ・学会賞受賞者コメント(松井圭介)
- ・寄贈図書紹介
- ・学会からのお知らせ
- ・コラム「わたしのフィールドから」(卯田卓矢)

JAGS

<最新ニュース>

- ・機関誌「地理空間」第7巻2号が2014年12月20日に発行されます。

第8回大会のお知らせ(第1報)

地理空間学会では、第8回大会を下記の通り開催いたします。

【日程】

2015年6月20日(土): 研究発表, 評議員会, 総会, 懇親会
6月21日(日): 巡検(詳細未定)

【会場】

筑波大学 筑波キャンパス(予定)

※詳細は順次ホームページに掲載します。

第7回大会の報告

6月28日(土), 6月29日(日)に立教大学新座キャンパスにおいて第7回大会が開催されました。大会参加者82名。以下のシンポジウムと研究発表が開催され、活発な議論が行われました。

【シンポジウム「ヨーロッパの山地ツーリズム」】

市川康夫(筑波大): 19世紀英国紀行文とフランス山村のツーリズム—「スティーブンスンの道」を事例に—
呉羽正昭(筑波大): オーストリアアルプスにおけるスキーリゾートの継続的発展

池永正人(長崎国際大): スイスアルプスの自然環境保全と多様なアクティビティ

松村公明(立教大): コメント

【口頭発表】

清水克志(秀明大): 教員養成課程における新旧地形図を活用した教育実践とその効果

渡邊瑛季(筑波大・院): スピードスケート競技環境の空間的再編とその課題—長野県佐久地域を事例に—

矢ヶ崎太洋(筑波大・院)・吉次 翼(慶應大): 東日本大

震災を契機とした陸前高田市の都市構造の変容

丸山宗志（立教大・院）・松村公明（立教大）・大塚直樹（亜細亜大）：都市機能の変遷からみた旧サイゴン中心部の空間的特徴—フランス統治期の旧版地図を手がかりに—

鈴木富之（名桜大）：首都圏外縁部におけるペンション集積地域の形成要因

堀本雅章（法政大沖縄文化研）：「瑠璃の島」放映後の沖縄県竹富町鳩間島における観光地化とその特色

児玉恵理（筑波大・院）：埼玉県の近郊野菜の地域ブランド化と個人ブランド化の研究

白坂 蕃（東京学芸大・名誉）：中国雲南省北部におけるチベット族の移牧

【ポスター発表】

本多広樹（筑波大・院）：群馬県前橋市における一般廃棄物処理の空間構造

橋爪孝介（筑波大・院）：伊勢市における鳥居前町の景観変化—土地利用からみた式年遷宮の影響—

阿部依子（筑波大・院）：岡山県真鍋島における小中学生をとりまく教育環境の変遷と現状

清水克志（秀明大）：宮城県浦戸諸島におけるハクサイ採種業の歴史と現状

渡辺亮佑（筑波大・院）：徳島県海部郡美波町における漁村留学制度を通じた地域構造の変容

奥 啓彰（筑波大・院）：東武鉄道東上本線におけるダイヤの展開



写真 シンポジウムの模様

（2014年6月28日 磯野巧撮影）

吉次 翼（慶應大）・矢ヶ崎太洋（筑波大・院）・大江守之（慶應大）・一ノ瀬友博（慶應大）：東日本大震災を契機とした住宅再建・集団移転事業の現状と課題 —宮城県沿岸15自治体を対象として—

浅野元紀（筑波大・院）：女川町における仮設商店街「きぼうのかね商店街」の役割と課題

川川志のぶ（筑波大・院）：新宿駅周辺におけるネイルサロンの立地特性—路線価格を用いた店舗立地の分析を通じて—

杉本興運（学振PD・筑波大）・村山祐司（筑波大）：「人の流れデータ」による東京都市圏の観光行動分析

※総会終了後、立教大学新座キャンパス太刀川記念交流会館で懇親会が開催されました。参加者55名。

第7回大会巡検報告

大会2日目の6月29日（日）に、埼玉県川越市にて「小江戸・川越の地域変容—過去・現在から将来を考える—」と題して大会巡検を開催いたしました。当日は30名の方にご参加いただきました。

午前中は曇り空の下、まず川越駅にて西口駅前広場と東口再開発の様子を見学後、駅前商店街のクリアモールを通り、本川越駅へ向かいました。本川越駅からは中央通りの

セットバックの進行状況を見つつ、旧鏡山酒造の蔵を利用した小江戸蔵里を訪れました。その後、中院・喜多院の境内を巡り、地域に息づく仏教文化に触れました。喜多院からは二手に分かれてバスに乗り、川越城本丸御殿で合流、御殿内部を見学しました。汗ばむような日差しの中、急勾配が特徴の川越城中ノ門堀跡や市役所を通り、国登録有形文化財のレストラン・太陽軒の前で昼食のため一時解散と

なりました。太陽軒では 22 名が昼食を楽しみ、2 階に上がって戦前洋風建築の見学も行いました。

午後は札の辻にて再集合し、菓子屋横丁を散策、川越まつり会館では川越まつりの囃子の実演を鑑賞しました。その後蔵造りの街並みが残る川越一番街の景観を観察しながら、川越のシンボルである時の鐘に立ち寄り、川越市蔵造り資料館を訪れました。資料館では雷を伴う激しい雨に見舞われ、雨宿りを兼ねて蔵の内部や昔の道具などを見学しました。雨が弱まったところで一番街の散策を再開し、大正浪漫夢通りを通り、蓮馨寺前にて解散となりました。

当日は川越市の方々との交流を通して、深い歴史に根差した地域の文化について多くのことを学びました。また帝京大学の溝尾良隆先生には、各地点で詳細な解説をしていただき、過去から現在に至る街の変容を通して、将来の川越市の展望を描くことができました。資料の作成や現地での解説では、筑波大学大学院生の方にご協力いただきました。当初見学予定であった川越市立博物館の臨時休館や突

然の大雨などトラブルもありましたが、無事巡検を終了することができました。巡検にご参加くださいました皆様と巡検の実施にご協力くださいました皆様に御礼申し上げます。

(オーガナイザー 石坂 愛, 金 延景, 児玉恵理, 橋爪孝介, 渡邊瑛季)

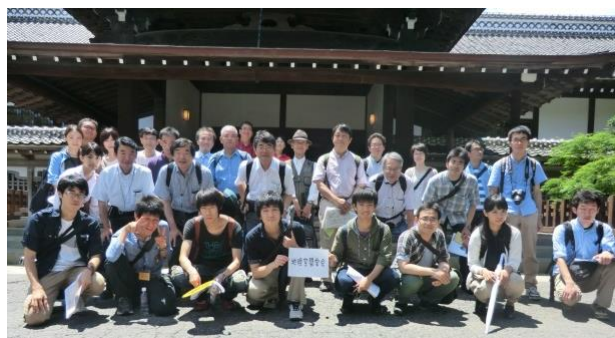


写真 川越城本丸御殿にて

(2014 年 6 月 29 日 観光客の方に撮影していただきました。)

第7回総会報告

日 時：2014 年 6 月 28 日 (土)

場 所：立教大学新座キャンパス 6 号館 3 階 N636 教室

出席者：62 名

山下清海常任委員長の開会の辞、内山幸久会長の挨拶のあと、丸山浩明会員を議長、磯野 巧庶務委員を書記として選出し総会が始められた。

I 会務報告について

会員数 (2014 年 6 月 26 日現在, 305 名)、第 6 回大会の開催、第 16~17 回例会の開催、機関誌「地理空間」第 6 巻 1 号および第 6 巻 2 号の刊行、ニュースレター (第 17~19 号) の発行、ホームページおよびメーリングリスト (jags-ml) の運営、日本学術会議協力学術研究団体への認定 (2013 年 9 月 24 日)、および 2014 年度学会賞について報告があった。

[地理空間学会学会賞]

[学術賞]

西野寿章

受賞対象：西野寿章『山村における事業展開と共有林の機能』原書房, 263p., 2013 年 1 月。

田林 明

受賞対象：山本正三・田林 明・菊地俊夫編著『小農複合経営の地域的展開』二宮書店, 399p., 2012 年 2 月。

田林 明編著『商品化する日本の農村空間』農林統計出版, 397p., 2013 年 2 月。

松井圭介

受賞対象：松井圭介『観光戦略としての宗教—長崎の教会群と場所の商品化—』筑波大学出版会,

182p., 2013年3月.

MATSUI K.: Geography of Religion in Japan:
Religious Space, Landscape, and Behavior.
Springer, 200p., 2013年12月.

【奨励賞】

植村円香

受賞対象：植村円香「東京都利島村におけるツバキ実生産による高齢者の生計維持」『地理学評論』
84, pp.242-257, 2011年11月.

植村円香「高齢期離職就農者による柑橘農業の実態とその意義—愛媛県岩城島を事例として—」『経済地理学年報』59, pp.136-153,
2013年3月.

植村円香「高齢化に伴う果樹複合産地の変容—長野県飯田市・高森町の干し柿生産を事例として—」『地学雑誌』122, pp.502-520, 2013
年7月.

II 2013年度決算報告・監査報告について

2013年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され、その収支について会計監査より適正であるとの承認を受けたことが報告された。2013年度決算案は異議なく承認された。

【一般会計】

(2013年4月1日～2014年3月31日)

【収入】

単位：円

費目	決算額	予算
繰越金	471,074	471,074
会費	950,000	553,000
一般会員会費	840,000	480,000
今年度分会費※1	604,000	-
過年度分会費	232,000	-
次年度以降分会費	4,000	-
院生会員会費	108,000	70,000

今年度分会費	80,000	-
過年度分会費	28,000	-
学生会員会費	2,000	3,000
今年度分会費	2,000	-
寄付金	0	0
雑収入	467,290	343,000
機関誌販売	135,790	120,000
ページ超過料金※2	310,000	200,000
大会参加費	21,500	23,000
合計	1,888,364	1,480,294

※1 一般会員会費納入率 62%

※2 『地理空間』6巻1号, 6巻2号

【支出】

単位：円

費目	決算額	予算
事業費	1,255,873	1,060,000
地理空間印刷費	1,093,444	800,000
6巻1号印刷費	475,532	400,000
6巻2号印刷費	617,912	400,000
大会・例会運営費	162,429	260,000
事務関連費	156,750	150,294
通信運搬費	115,318	70,000
消耗品費	36,777	20,000
事務費	4,655	60,294
予備費	0	100,000
繰越金	475,741	0
合計	1,888,364	1,480,294

【特別会計（地理空間学会学術基金）】

(2013年4月1日～2014年3月31日)

単位：円

収入	決算額	支出	決算額
前年度繰越金	983,294	2013年度一般会計への支出金	0

寄付金	600,000	次年度繰越金	1,583,294
合計	1,583,294	合計	1,583,294

Ⅲ 2014 年度事業計画について

2014 年度事業計画について、「地理空間」第 7 巻 1 号および 2 号の刊行，第 7 回大会の開催（立教大学新座キャンパス），例会の開催，ニューズレターの発行，ホームページとメーリングリストの管理・運営，会員名簿の発行，ホームページデザインの更新が提案された。2014 年度事業計画は異議なく承認された。

Ⅳ 2014 年予算案について

2014 年度予算案について，収入と支出に関する説明がなされた。2014 年度予算案は異議なく承認された。

[2014 年度予算案]

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

単位：円

収入		支出	
前年度繰越金	475,741	事業費	1,090,000
会費	593,000	地理空間印刷費	800,000
一般会員会費※1	520,000	大会・例会運営費	240,000
院生会員会費※2	70,000	名簿印刷費	50,000
学生会員会費※3	3,000	事務関連費	188,741
雑収入	280,000	通信運搬費	130,000
機関誌販売	160,000	消耗品費	20,000
著者負担金	100,000	事務費	38,741
大会参加費	20,000	予備費	70,000
計	1,348,741	繰越金	0
		計	1,348,741

※1 130 名で計算

※2 35 名で計算

※3 3 名で計算

V 役員・専門委員会の構成について

役員および専門委員会（2014 年 7 月 1 日～2016 年 6 月 30 日）の構成員について報告された。役員および専門委員会構成員は異議なく承認された。

会 長：櫻井明久（駒澤大）

会計監査：田林 明（筑波大名誉），矢ヶ崎典隆（日本大）

常任委員：山下清海（常任委員長，筑波大），呉羽正昭（庶務委員長，筑波大），兼子 純（会計委員長，筑波大），森本健弘（集會委員長，筑波大），松井圭介（編集委員長，筑波大）

評 議 員：井田仁康（筑波大），伊藤 悟（金沢大），伊藤徹哉（立正大），小口千明（筑波大），小野寺 淳（茨城大），加賀美雅弘（東京学芸大），兼子 純（筑波大），川瀬正樹（広島修道大），菊地俊夫（首都大学東京），呉羽正昭（筑波大），小林岳人（松戸国際高），小宮正実（帝国書院），篠原秀一（秋田大），須山 聡（駒澤大），平 篤志（香川大），高橋重雄（青山学院大），堤 純（筑波大），中西僚太郎（筑波大），中村周作（宮崎大），中村理恵（前橋高），仁平尊明（北海道大），根田克彦（奈良教育大），橋本雄一（北海道大），平岡昭利（下関市大），松井圭介（筑波大），丸山浩明（立教大），村山祐司（筑波大），森本健弘（筑波大），山下亜紀郎（筑波大），山下清海（筑波大），山下宗利（佐賀大），若本啓子（宇都宮大）

<専門委員会>

庶務委員会：呉羽正昭（委員長），磯野 巧，児玉恵理，中川紗智，橋爪孝介

会計委員会：兼子 純（委員長），栗林 慶，羽田 司，福井一喜

集會委員会：森本健弘（委員長），山下亜紀郎（副委員長），池田真利子，石坂 愛，卯田卓矢，遠藤貴美子，矢ヶ崎太洋

編集委員会：松井圭介（委員長），堤 純（副委員長），井田仁康，小口千明，須山 聡，田林 明，中西僚太郎，橋本暁子，橋本雄一，丸山浩明，村山祐司，矢ヶ崎典

隆, 山下 潤, Thomas C. Waldichuk

(書記): 小野澤泰子, 川村一希, 橋本 操, 益田理広,
渡邊瑛季

学会賞選考委員会: 井田仁康 (委員長), 岩間信之, 中村
周作, 仁平尊明, 村山祐司 (事務局)

(※2014年7月1日~2015年6月30日, 1年間)

VI その他

機関誌「地理空間」の別刷り代の負担について、若手研究者の研究を奨励するために、院生会員・学生会員の単著論文、掲載年度もしくは掲載年度の前年度に提出された卒業論文・修士論文をもとにした単著論文に該当する論文に関しては、50部まで論文別刷り代を無料にすることが兼子会計委員長より提案された。この案は異議なく承認された。

学会賞受賞者コメント

この度、地理空間学会 2014 年度（第 7 回）学会賞の学術賞を受賞された松井圭介会員から受賞のコメントをいただきました。

学術賞 松井圭介会員（筑波大）

このたびは、拙著『観光戦略としての宗教—長崎の教会群と場所の商品化—』（筑波大学出版会）および、『Geography of Religion in Japan: Religious Space, Landscape, and Behavior』（Springer Japan）に対して本学会学術賞を賜り、光栄に存じます。

前者は、2004 年から続けてきた長崎におけるフィールドワークの成果をまとめたものです。場所の魅力を発見し、発信していこうとする試みは全国各地の自治体で行われていますが、本研究は長崎の教会群をめぐる保存と活用をめぐる動きを、行政や地域の人びと、教会関係者、観光業界関係者などのステークホルダーに焦点をあて、場所の商品化の課題という視点から考察したものです。長崎における調査は、私が学生時代にお世話になった宗教学者との共同研究を機縁に始めたものです。長崎の教会群は 2007 年 1 月にわが国の世界文化遺産暫定登録リスト入りしましたが、私たちがフィールド調査を始めた当初、これらの教会群が世界遺産の候補になるとは正直想像がつかせませんでした。2016 年の世界遺産本登録を目指して準備が進む今、関係者の尽力と地域の動きを現在進行形でみる

ことができたこと、絶好のタイミングで研究に取り組めたことを幸運に思います。

後者は、私が修士論文以来発表してきた宗教地理学に関する論文を精選し、日本地理学会と Springer Japan 社との間で始められた英文叢書（International Perspectives in Geography）の第 2 巻として刊行させていただいたものです。日本の地理学における学術的な成果を英語で公開するという企画ですが、幸運にも拙稿を採用いただき、出版することが叶いました。また両書とも地理空間学会の会員の皆さまとの交流やディスカッションの賜物といって過言ではありません。この場を借りまして関係の皆さま方に深く御礼申し上げる次第です。

気がつくとも私の中堅からベテランと呼ばれる年齢に差し掛かってきました。勤務校で同僚の先生方をみていると、私よりはるかに忙しい先生方が寸暇を惜しんで夜遅くまで研究にいそんでいる姿を目にします。私も栄えある学術賞を励みに、また次の研究に進んでまいりたいと存じます。

寄贈図書紹介

横山昭市会員および平岡昭利会員より、著書を寄贈いただきました。

横山昭市『国際関係の政治地理学—現代の地政学—』古今

書院, 244p., 2014年9月.

平岡昭利・須山 聡・宮内久光編著『離島研究 V』海青社,

244p., 2014年11月.

学会からのお知らせ

＜事務局からのお知らせ＞

2014年会員名簿が7月10日に発行されました。住所変更等がある方は、事務局までお知らせください。

＜会計委員会からのお知らせ＞

1. 会費納入のお願い

多くの方々から会費の納入をいただいておりますが、若干名、過年度の会費納入がお済みでない方もいらっしゃいます。未納の方は、「地理空間」第7巻1号に同封した振込用紙でお支払ください。納付したか不明な方や振込用紙をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。大学を通じて電子振込みをされる場合には、必ず氏名と所属先の明記をお願いいたします。

[年会費の振込先]

(ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00120-5 口座番号：779957

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：019 店名：〇一九店（セ”ロイチキュウテン）

預金種目：当座 口座番号：0779957

受取人名：チリクウカンカ”ツカイ

(ウ) 年会費

一般会員 4,000円 大学院生会費 2,000円

学生会費 1,000円

2. 「地理空間学会学術基金」の募金について

「地理空間学会学術基金」の募金活動について、会員の皆さまの一層のご理解とご援助を賜りますようお願い申

し上げます。

[地理空間学会学術基金の内容]

○名称：地理空間学会学術基金

○目的：地理学の優れた研究者を育成することを目的として、その研究活動の充実を図るための資金として活用する。

○募集対象：本学会の活動理念を理解し、本寄付の趣旨にご賛同いただける方。

○ご依頼額：102万円（何口でも可能です）

[振込方法]

(ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00150-3 口座番号：707452

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：019 店名：〇一九店（セ”ロイチキュウテン）

預金種目：当座 口座番号：0707452

受取人名：チリクウカンカ”ツカイカ”クシ”ユツキ

※ 基金への寄付をいただいた方のお名前は、機関誌「地理空間」やホームページ等に掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望でない方は、「匿名希望」とご記入ください。不明な点は、事務局までお問い合わせください。

＜編集委員会からのお知らせ＞

1. 次号以降の投稿について

第7巻2号は、2014年12月20日の発行を予定しております。原稿は随時受け付けており、査読を経て受理された論文から順次掲載して参ります。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員の皆様の活発な投稿をお待ちしております。投稿規定や執筆要領については、地理空間学会ホームページをご覧ください。

2. 定期購読のお願い

本学会の活動を知っていただくため、会員の皆さまの研

究室や大学・高校の図書館等での「地理空間」の定期購読をご検討いただけますようお願い申し上げます。ご購入いただける場合には、学会事務局までお知らせください。

3. 「地理空間」掲載論文のリポジトリ等への掲載について

掲載誌が刊行されてから半年を経過した場合には、大学等の学術リポジトリや著者本人のホームページ等へ自著の論文の掲載を認めます。掲載論文の電子ファイルが必要な方は、学会事務局までご連絡ください。

コラム「わたしのフィールドから」

卯田卓矢（筑波大・院生）

比叡山は京都府と滋賀県の境に位置し、主峰の大比叡（848.3m）と近接する四明ヶ嶽（838.8m）などから構成される山です。この地は788年に最澄が一乗止観院（現 根本中堂）を建立し、その後天台宗を開いて以来、各宗各派の祖師高僧を輩出した「日本仏教の母山」として知られています（写真1）。山内の施設は主に滋賀県側の山上尾根や溪間の平坦地を利用して建てられており、南から東塔、西塔、横川の3つの地区に大別されます（図1）。延暦寺とはこの3地区の施設と東麓の坂本に所在する里坊を総称したものです。



写真1 延暦寺僧侶と根本中堂（2008年11月）

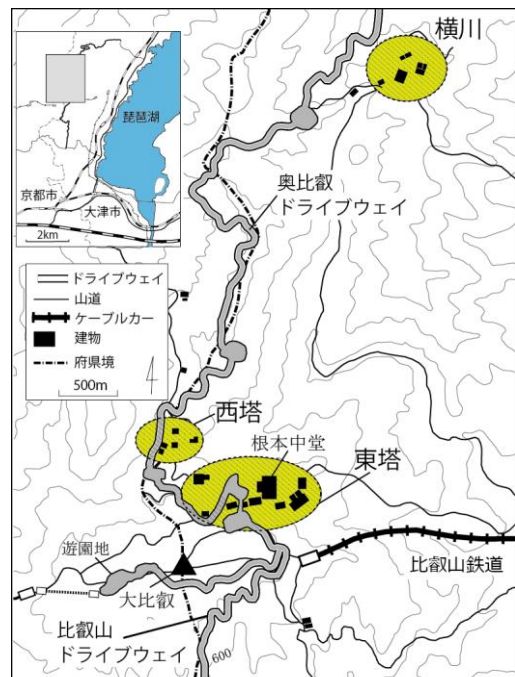


図1 比叡山延暦寺

延暦寺は古くから学問・修行の山としての性格が強く、参詣者への関心は高くありませんでした。また、京都方面から比叡山へ通じる雲母坂や白川道などはいずれも険路であったことから、参詣者が訪れることもあまりなかったとされます。

しかし、大正末以降、京都側および大津坂本側の両麓から山上へのケーブルカーが開業し、移動手段が飛躍的に向上しました。さらに、戦後になると比叡山ドライブウェイ（1958年）および奥比叡ドライブウェイ（1966年）が開業し（写真2）、自家用車や団体バスでの参詣が可能となりました。特に後者の時期は戦後のツーリズムの進展とも相俟って、年間100万人ほどが延暦寺へ訪れました。



写真2 比叡山ドライブウェイ入口（2013年4月）

これに対し、聖地管理者である延暦寺はこの変化を積極的に活用し、増加する参詣者を重視した境内空間の整備（写真3）や教化戦略の転換を進めることで、宗教活動を促進しました。以上のように、延暦寺は聖地を主導的に再編させることで、戦後のツーリズムの進展という変化に適応しようとした。



写真3 新設された横川の参道（駐車場から主要施設へ向かう）（2012年11月）

編集後記

地理空間学会ニュースレターは、2008年5月9日に第1号が発行されてから、今号で第20号を迎えました。会員の皆様の日頃のご支援、ご協力に感謝いたします。

ニュースレターでは学会に関連した情報を適宜掲載していきますので、掲載すべき情報やご要望がございましたら、事務局までお寄せください。最新の情報は学会ホームページで随時更新しております。本会では、会員間の情報交換の手段として、メーリングリスト（jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp）を開設しております。すでに多くの方にご参加いただいておりますが、まだ登録されていない方でメールアドレスをお持ちの方は、ぜひご参加ください。

地理空間学会ニュースレター 第20号

発行日：2014年12月4日

訂正：2014年12月5日

発行所：地理空間学会事務局

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学生命環境系地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL/FAX 029-853-6873

E-Mail geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp

URL <http://jags.ne.jp/>